

福祉情報誌

編集／社会福祉法人A J U自立の家
福祉情報誌発行委員会
発行／A J U車いすセンター
A J U自立生活情報センター

連絡先／〒466-0015
名古屋市昭和区御器所通3-12-1
A J Uリサイクル相談事業部内
TEL (052)851-0059
FAX (052)851-0159

暮らしに役立つ、ちょっとわくわくすることがある、そんな情報を贈ります。

平成 18 年 9 月 5 日 (火) 増刊 通刊 7495 号 A J U自立の家
昭和54年8月10日 第三種郵便物許可
発行所／東海身体障害者団体定期刊行物発行協会
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター4F

A J U自立の家

第83号

2006年8月20日号

定価250円

テーマ

あなたの声に こたえます。



森 みゆぎ

はじめの一步をふみだしたあなたへ

- 特集 あなたの声に応えます!..... 1
「学校へ行こう! 第2弾」
- 福祉制度情報 8
「『自立支援法』のその後」
- 克己のおまかせ情報 10
「ジョイスティックで運転する車」
- タイスタディーツアーの報告 13
「アジアの障害を持つ仲間の暮らしと支援」
- 生活の道具相談室 18
「レクリエーション旅行先で楽しむグッズ」
- かつきのページ 20
- グルメな調査隊 第46弾 21
「韓国料理 シュリ」
- お宿のご案内 22
素心の宿『大石屋』
- トラベル情報 23
「トルコ9日間」
「石垣・竹富&西表島めぐり」
「世界自然遺産・白神山地」
「アンコールワットとベトナム8日間」
- 読者の声 24
「熱田イオンのシャトルバス」
「りんご狩り」「佐治さんより」
- いろいろ情報 26
「しゃぶしゃぶの本曾路」
「シティ・ハンディマラソン」
「果物狩り」「伊勢・鳥羽観光バス」
「太極拳教室」「ウェルフェアコンサート」

学校へ行こう！ 第2弾

みなさんお待たせいたしました。第2弾です。私の障害は脳性小児マヒのアテトーゼ型、外では電動車いす、家の中では手動車いすを使ったり、床をはって移動しています。今回は第1弾として、現在養護学校や普通校に通っている障害を持った子供達やその保護者の方々、また養護学校や普通校に通っていた当事者(卒業生)のみなさん、そして養護学校で働いている教員のみなさんにアンケートを取らせてもらい、それを元にそれぞれの学校を卒業された当事者のみなさんで座談会を開きました。



座談会 パート2

今回は、現在養護学校あるいは普通校に通っている障害をお持ちのお子さんのお母さん方お二人と私の3人で、アンケートを元にお子さんの学校生活や学校や制度のあり方について話をしたのでその模様をお伝えいたします。

参加者紹介

●山本さん

21歳の女の子と12歳(中学2年生)の男の子のお母さん。お子さん二人とも聴覚に障害を持っています。

●堀内さん

11歳(養護学校小学部5年生)の女の子と、6歳(小学校1年生)と2歳の男の子のお母さん。長女のお姉ちゃんが、重度の運動、精神、発達遅滞障害(はっきり病名がついていないそうです)を持っています。



現在普通校に通っている、 障害を持つ児童の保護者アンケートより 「普通校を選んだ理由を教えてください」

- ・本人の意志。(中学1年、聴覚障害、要ノートテイク)
- ・地域の保育園に通い、友達関係を作ってきたし、本人も普通小学校へ行く意志を持っていた。また友達関係を守っていきたくかったし、社会性を身につけ、ほかの健常児にもこういう子がいるということを知ってもらいたかったから。(小学2年、脳性まひ、体幹・下肢・上肢障害、手動車いす使用、要トイレ・着替)
- ・閉鎖的な所より、一般の体験ができるから。保育園の頃から地域に友達がいたから。(小学3年、脳性まひ、てんかん・体幹機能障害、杖・手動車いす・歩行器使用、要移動介助)
- ・周りの人(先生、友人等)の協力・支えがあれば必ず普通学校に行けると思っていた。(小学6年、骨形成不全、体幹機能障害、手動車いす使用、要階段の昇降介助)

まち:普通校へ行っていて、困ったこと、よかったことを教えてください。

山本:普通学校へ行って一番困ったことは、同じ障害の友達がまわりにいないこと。悩みを分かち合ったりする友達がいないことが困った。よかったと思うことは、学校が終わって家に帰ってからも遊ぶ友達がいること。

まち: 悩みを分かちあえる友達作りは聴覚障害を持つ人のサークルなどへ参加したのですか？

山本: サークルに行きましたが、参加されているのは大人ばかりでした。聴覚に障害のある子供が手話を使うのは親がいやがるので、同じぐらいの子供はいなかったのです。自分の子供の障害を認めたくなくて、親は隠したがるんです。ろう学校も今は変わってきましたが手話は使いたがらない。それで娘は大人の聴覚障害を持つ人とFAXでやりとりしたりして交流していました。

まち: 学校が終わってから同級生と遊んでいたんですね。

山本: はい。ただ、日本語の訓練を毎日していたので、遊んでいる時間は少なかつたと思います。聞こえないので、言葉を教えなければ分からないんです。だから、小さい時から家庭で訓練してきました。近所の幼稚園に通っていたんですけど、みんなより少し早く帰って自宅で訓練をして、他の子供達が帰ってきてから一緒に遊ぶという事をしていました。その訓練の時間が必要なので、もしろう学校へ行っていたら、通学に時間がとられるし、帰ってから友達と遊んで訓練もするというのは無理だったと思います。

まち: 訓練はみなさん自宅でされるのですか？

山本: 教育相談などで教わって、自宅でやっています。家庭によっても違うと思いますが。

まち: どうして普通校を選んだのですか？

山本さん: ろう学校の教育相談に行っていたので、ろう学校のことが分かりました。当時のろう学校は、耳が聞こえないのに手話を使ってくれなかったので、聴力が比較的ある子は先生の話が分かるけれど、聴力の重い子は分からないと思いました。また、講堂に集まって保護者も一緒に話を聞く機会があり参加したのですが、聞こえない保護者の情報保障が何もされていませんでした。それで、子供が障害を持った自分を肯定できずに育ってしまうのではないかと思

い、こういう環境には入れない方がいいのではないかと思い判断しました。ただ、思春期の娘は、外で手話で話しかけると、みんながジロジロ見るからといやがっていましたが。

現在養護学校に通っている、
障害を持つ児童の保護者アンケートより
「養護学校を選んだ理由を教えてください」

- ・ 本人に合ったプログラムを個々に行ってもらえる。集団生活の中の個を学べる。(小学5年、下肢障害で手動車いす使用、要トイレ介助)
- ・ 確実に何かひとつ身につけてほしくて選びました。(小学5年、ウエスト症候群、知的・体幹・下肢・上肢障害、歩行器・介助用車いす使用、全介助)
- ・ 双子の兄との同じ学校へとも考えましたが、学校の体制もなく(バリアフリー etc) 本人が全介助の状態だったので、とりあえず体制の整っている学校にしました。(小学5年、知的・体幹機能障害、独歩、要トイレ介助)
- ・ 普通校を選択する余地はなかった。(脳性まひ、介助用車いす使用、全介助)

まち: では堀内さん、養護学校へ行っていて、困ったこと、よかったことを教えてください。

堀内: よかったことは、どうして養護学校を選んだかという理由と共通しますが、集団生活をする前の段階で療育グループに参加して、そこで知り合った人達の縁で、親御さんや養護学校の先生と知り合い、娘のことをよく理解してくれている人がたくさんできたので、養護学校へ自然に行くことになりました。



養護学校のよいところは、先生の数がたくさんで、マンツーマンに近いような状態です。オーダーメイドのような形で関わってもらえるのでよかったです。普通校と格段に違います。困っていることは、学校まで車で35~40分かかること。スクールバスに乗ると約1時間。障害が重いとその移動だけで辛いです。ただ、だんだん体力もついてきて、今はバスにも乗ってそれなりに楽しくなっているのだからいい感じになっている。

現在学校に通っている、
障害を持つ児童の保護者アンケートより
「学校までの所要時間と、登下校の方法を
教えて下さい」

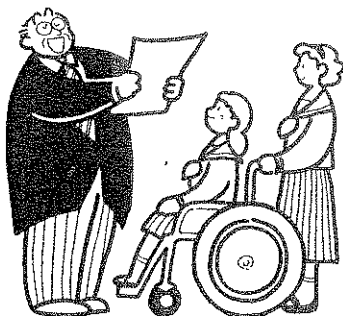
<普通校の生徒>

- ・ 15分 徒歩
- ・ 5分 徒歩、保護者の車（寒い日や雨の日）
- ・ 10分 分団登校、下校は保護者の車かヘルパ
- ・ 10分 車いすで

<養護学校の生徒>

- ・ 25分 スクールバスか保護者の車
- ・ 1時間 スクールバスか保護者の車かヘルパー
- ・ 1時間20分 スクールバスか保護者の車
- ・ 1時間30分 スクールバス
- ・ 1時間 スクールバス
- ・ 40分 登校は保護者の車、下校は公共交通機関でヘルパーと一緒に1時間

まちの心の声: 何でしょうか、この違いは…。養護学校の場合、所要時間がかかりすぎることは今でも変わっていないのですね。



障害を持つ卒業生とその保護者アンケートより
「障害を持つ児童・生徒の保護者の方へ
一言お願いします」

<養護学校卒業生>

- ・ 私が行ってた時代とは違い福祉にみんなの眼が向いている時代なので子供さんがやりたい事を挑戦させて欲しい。
- ・ 子どもさんが自立できるようなサポートをお願いします。情報集めであったり、相談にのったり、何かにチャレンジしようとするときに、手を出さないで、少し離れたところから見守っていてほしいです。子どもさんと共に泣き、共に喜んでほしい。
- ・ 鋭い言葉で反感があることを承知して言うと、子供にとって親は最強で最大の障壁です。子供が障害者だから何も出来ないと思込ませたり、諦めさせたりしないで、子供の可能性を信じて一緒に探って欲しいと願っています。
- ・ あまり、頑張り過ぎないでください。将来のことも気になりますが、今の積み重ねが将来なので、今を心地よくすごしてほしいとおもいます。

<養護学校卒業生の保護者>

- ・ 希望を持って、その子の自立をめざしてガンバってください。

<普通校卒業生>

- ・ 絶対に無理をさせないようにして本人の意志を十分に尊重して進路を決めてください
- ・ あなた達は決して子どもさん達の面倒を一生みることはできません。またあなた方も自分の時間を持つべきであるように子供達にもそれは必要です。彼らがあなた達なしに、自分の道を生きていけるよう、彼らを信じ認めてあげて下さい。何があろうと、家族はやはり大きな存在です。
- ・ 小さい時は子供にいろいろな道を探してあげて子供に選んでもらう。大きくなったら自分で探させる。
- ・ 目を離さなくても、手は放すようにしてください。

＜普通校卒業生の保護者＞

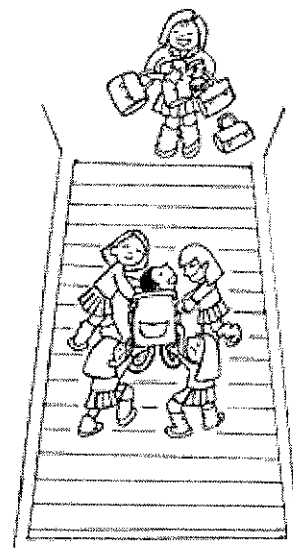
- ・子どもが障害を持っているということとは、親としては本当に心身ともに疲れるものです。ついつい無理をしがちになります。しかし、その子の持っている個性や、可能性に一喜一憂しながら、毎日毎日をあまり気負わずに大切に過ごして行って頂きたいと思います。(子どもが大学生になってやっと言えるのですが…)
- ・あまり先のことを心配しない。

まち: アンケートの卒業生やその保護者の方からのアドバイスをみてどう思いましたか？

堀内: 以前と違って環境が変わってきたという事が書いてありましたが、そう実感しています。まだ5年間しか行ってないけれど、年々、先生や親の考え方も変わってきて、普通校も望めば行けるようになってきています。養護学校の肢体不自由（重複障害がない）クラスは減っていて、普通校へ行って、難しくなってから高学年で入ってくる傾向もあります。また、訪問のクラスもありますが、通えるようになってきています。重い障害を持っている人も集団の場所に出て行けるチャンスが増えてきています。先生の配置もマンツーマンに近いし、親の意見も早く反映してくれるし、子供達ものびのび学校へ行ってくれています。

それから、卒業したらそれでサヨナラという感じがこれまでは強かったが、昨年の終わりぐらいから、卒業後の状況を追跡していこうという方針に文部科学省から変わってきました。学校以外でどんな施設、病院で関わって成長しているのかを学校も知って、地域の人達とも話し合っただけという方向に。そのアンケートが今年度から本格的に始まります。親が一日中学校にいて介助しなくてもよい状況にもなっているし、医療行為の必要な人の対応もできていきているので、学校が子供だけの物になりつつある。そんな感じです。

山本: 「メリット、デメリットがある」の意見に、私もそうだと思います。前から思っているのは、もっと健常者と障害者の垣根が無くなって欲しいということ。障害を持っていると特別な学校へ行くという流れが、最近は変わってきている。本人が行きたいところに行くのが一番いいと思う。地元を希望すれば、地元の人達も障害を持っている、構える必要がないことを世間の人達にもっと分かって欲しいなと思います。サポートの必要な人にはサポートをつける、子供達がやりたいことをやれる体制になって欲しいと思います。

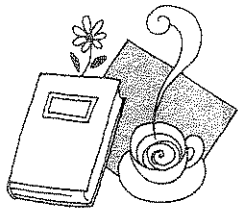


まち: そうですね、障害のある子とない子が一緒に勉強するという統合教育についてどう思いますか？

堀内: 地元の幼稚園や小学校へ行く子も増えていて、お互いに刺激し勉強になっているようです。今の養護学校は、近所の小学校との交流が毎月1回あって、何回もあるので、マンネリをどう打開するかを生徒が考えながら交流しています。やってもらって当たり前、サポートしてもらうのが当たりの養護学校の子にとって、自分のことは自分でやる子供達の姿は刺激になっていい。統合教育していくためには、障害のある子供たちの身体、病気の状態を把握して、融合していく架け橋になってくれる専門の人が必要だと思うのですが、今は難しい面もあるかと思っています。

うちの子が小学校に入学するにあたり地元の教頭先生と話したら、「うちに来ることも考えませんか？」と行ってくれました。私は、仲間もいるし、普通校はエレベータなどなくハード面の整備も必要だったし、子供への理解の不安もあったので養護学校を考えていたのです。教頭は若草学園にも様子を見に来てくれて、同じところや違うところ、やれそうなこと、やれそう校を選んだのですが、この教頭のような、橋渡にない所も見てくださいました。結局、養護学校、コーディネーターの先生がいるとよいのかと思います。

山本さん:今の堀内さんの話を聞いて驚いた。長女ときは、障害児は来るな来るなという雰囲気だった。ポツポツと障害を持った子が普通校へ行くようになったので、最近は予想がついて、状況が分かってきたこともあり、下の子が入るときはすんなりいった。私達が一つ一つ道を切り開いていくんだと感じた。

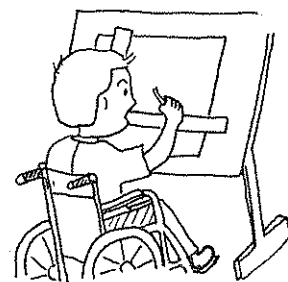


まち:私も今回のアンケートで、学校の体制がだいぶ良くなってきたなと思いました。私は養護学校しか行ってなくて、高等部の時に初めて近くの高校と交流があったんですが、1年に2回もあればいいという感じで養護学校は養護学校、普通校は普通校という閉ざされた学校生活でした。養護学校で障害の軽い子は卒業して一般企業へ行っていたのですが、閉ざされた生活のため知らないことも多く、常識から外れるといった壁にぶつかってしまうことが多かった。私自身は家にいるのがイヤで、名古屋の施設に入ったんだけど、施設でも、やはり今までの学校と比べていろんな障害の人がいて、いろんな考え方の人がいるので、学校では余り教えてもらっていなかったことも多くて、カルチャーショックを受けたのを思い出しました。

まち:せっかくなので、お互いの生活についてたずねてみましょう。堀内さんから山本さんへ聞きたいことはありますか？

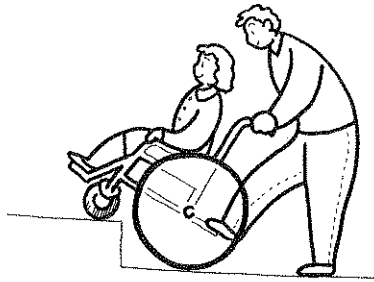
堀内:会社に勤めたり、社会にでていく可能性が一番高い子達の親は、グループができていて心強い状況で取り組んでいるのですが、養護学校から社会に入っていくという点では、卒業して次の所へ行くときに色々あるようです。普通校の人は、社会や地域との関係をどういう風にしてきたかな？

山本さん:大変でした。地域の行事にできるだけ連れて行っていましたが、ポツンとなることが多かったし、友達がいても、元気いっぱい健常児と遊びたい子が多かったり。今は大人になって、聴覚障害の集まりに行ったりとか、自分とあう人達と交流しています。コミュニケーションの障害なので、親しい友、分かり合える友と交流しています。障害がなくても、それぞれ性格があうあわないがあるので同じかなと思います。地域とのコーディネートは親がしているけれど、でも、親がいつまでもやっていたはいけないと思うんです。親はいつまでもついてはられないですね。ただ、だんだん、親が子供のために色々手伝いたいと言う気持ちがあっても、拒否されて手伝えなくなってしまう親離れの時期もあります。あとは子供にお任せですね。寂しいものはあります。



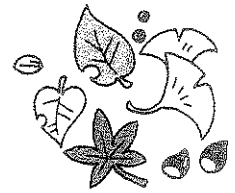
まち:なるほど。私にも覚えがあります。では山本さんから堀内さんに聞きたいことは？

山本:兄弟の関係。色々なお母さんの話を聞くと、障害を持っていない兄弟に対して手がかからないからほっとかかれていたと思い、その思いを持ったまま大きくなることもあると聞いていますが、その点は？

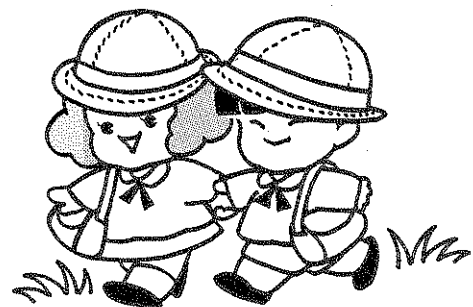


堀内:兄弟間の温度差はあると思います。誰かが割を食っていると思う子がいる。真ん中の子が何もやってもらっていないと言っているが、言っている子はまだいいのかなと思う。長い目で見ないとよく分からないけれど。5年生、年長、2歳の現在の関係で見ると、姉は障害児といえども母性があり、弟はかわいいらしいです。チャンネル争いは毎日あり、でも、お姉ちゃんはチャンネルを変えられる「と仕方ないか？」という感じで、でも時々足を出して弟を転がしたりしているけど。弟がいるとお姉さんになるみたいで、かわいいから我慢していると思っている。真ん中は足りないと主張し、下の子は泣いて我を通す関係。真ん中の子は、お姉ちゃんは普通のお姉ちゃんとはどうやら違うらしいと、ここ1年ぐらいで分かってきた。他のお母さん達に色々聞いてみると、やはりそう見えてくるのは年中、年長らしいです。良くも悪くもお姉ちゃんを評価してきている。色々他のお母さんたちの話を聞いていると、それぞれの性格や育ちで、離れたり、寄り添ったりしてくるらしいです。山本さんのご兄弟、お姉さんと弟さんの関係はどんな感じですか？

山本:姉は障害が重いのに比べ弟は軽い。同じ聴覚障害同士と思っていたけれど、弟が少し聞こえていることを姉が知って、「なぜ違うの？」と思い、ひがみを感じていた。弟に訓練をしていると、自分はほっとかかれていると思ったようで、よくケンカをしていた。8歳も離れているのに「弟ばかりいいな」とケンカが絶えなかったです。弟が多少は聞こえるため中学で英語のヒアリングもあり、「お姉ちゃんはどうだった？」と相談したりするので困ることもできてきました。親としてはお互い思いやりを持って助け合っていて欲しいと思います。まちはさんはどうだったんですか？



まち:一つ違いの兄がいます。小さい頃は一つ違いだから家ではよく遊んでくれていたけれど、外では他の友達と遊ぶのが楽しくて、私が一人でポツとしていることが多かったです。私の小さい頃は障害児なんて周りにいなかったから、他の子達から珍しがられてジロジロ見られる事が多くて、あまり外に出たいとは思わなくなっていた。小さい頃は自分で言うのも何だけれど、暗かったです。今兄とはあまり会わないし、男と女ではそんなに話すこともなくて。おまけに8年前に父親が他界したから、自分が親代わりだと思うのか、会うと色々とうるさいことを言って帰って行きます。



まとめ

まち:山本さん、堀内さん、お忙しい中本当にありがとうございました。座談会の最後の方は一般的な母親の井戸端会議のようで（自分も含めて）まとまりが付かずすみません。私自身、聴覚障害を持っているの方やその家族の悩みや生活環境を初めて知りました。私は養護学校を卒業して20年あまり経ちますが、最近の障害を持つお子さんの保護者の方はとても元気で前向きだなあと感じました。

気になった点は、アンケートの「障害を持つ児童・生徒の保護者の方へ一言」の回答で、養護学校卒生は普通校卒業生に比べて、学校時代に何かやりたいと思っていても自分の親が一番の壁になってしまったと言う思いが強いように感じていることです。また、普通校卒業生で学校側の理解不足や良い先生に恵まれなかつたため、いじめを受けた人たちが少なからずみえたことです。ただ、今回お二人に話をうかがって、「親が一番の壁になる」と「学校側の理解不足」という問題は、徐々にですが解消の方向にあるように思えました。それは、卒業生の諸先輩方が色々な可能性を切り開いていく中で、周りも少しずつ理解を深めて行っているのだらうと思います。

最後に、それぞれの学校を卒業された障害を持つみなさんから、障害をお持ちの児童・生徒さんに向けてアドバイスです。

- 始めから諦めないで、一人もしくは親以外の人とどんどん外に出て、いろんな体験をすることをおすすめします。
- 自分が過ごしてきた時代と比較すれば、やりたいと思うことができる社会になってきていると感じる。学校や施設、病院や自宅のみでなく、どんどん外出して様々な体験

や経験を重ねて行って欲しい。「やりたいこと」と「できること」とは違うとは思いますが、挑戦する気持ちを持ち続け、あとは少しの勇気で踏み込むことをして欲しい、学校の障害をもつ友達だけでなく、自分の住む地域の行事に参加して友達を作る努力を惜しまないで欲しい。

- できることを増やすことも大切かと思いますが、自分がそのことをやりたいのか、やりたくないのかなど、自分がどう感じているのかが分かれると良いなと思います。嫌だと思えることがあっても、それはいけないことではないと思います。絶対に。
- あまり無理せずにマイペースでこれからの自分の進路を決めてください。無理をしすぎて普通校へ行ったり、仕事内容のきつい一般企業に就職をしたら、学校ではいじめに遭ったり、職場では無理しすぎて二次障害になったりすることもあるので十分注意をして、慎重に自分の進路を決めてください。
- 自分の今の生活を当たり前だと思わず、親や先生の望むことばかりに従わず、また縛られず自分が本当にやりたいこと、生きたい道をまっとうして下さい。
- もちろん、普通校に行く事が普通なのかもしれないけれど、養護学校も行ってみるのも他の障害の事がわかるからいいかも？
- 井の中の蛙にならないように、いろんな情報を得て世界を広げて自分の可能性を試してください。

* その他のアンケート結果は付録で紹介します。

『自立支援法』のその後

今回は1割の自己負担の影響をレポートしました。現在名古屋市は10月「新体系への移行」スタートに向けた、障害程度区分認定調査が一段落し、区分認定の通知が届きはじめています。今回は、その後の動きと質問の多い点についてお知らせします。

Q: 障害程度区分でサービスの種類と量が決まるの？

A: 区分でサービス量が決まるわけではありません。介護保険の「介護区分」は区分ごとに利用できるサービスの種類と量が決まっていますが、自立支援法の「障害程度区分」は、サービスの必要性を明確にするために障害を持つ人の心身の状態を総合的に表す区分で、市町村がサービスの種類や量を決定する際に参考にするものの一つ。ただ、サービスの種類には、下記のように区分の限定があるものもあります。

○生活介護 区分3以上

入浴、排泄、食事等の介護や生産 活動の機会を提供する日中のサービス

* 施設入所を伴う場合は区分4以上

* 50歳以上の人は区分2以上、50歳以上で施設入所を伴う人は区分3以上

○療養介護

① 気管切開を伴う人工呼吸器による呼吸管理を行っている人で、区分6以上

② 筋ジストロフィー症、または重症心身障害者で、区分5以上

○居宅介護(ホームヘルプ) 区分1以上

○行動援護 区分3以上

○重度訪問介護 区分4以上

現在の日常生活支援に外出時の介助を含めたサービス。対象は重度の要介護状態にあり、かつ、四肢まひのある身体障害者

○施設入所支援

① 生活介護利用者のうち、区分4以上のもの、但し50歳以上は、区分3以上

② 自立訓練または就労移行支援の利用者のうち、地域の社会資源の状況等により、通所することが困難であるもの

Q: では、サービスの種類と量は、どうやって決められるの？

サービスの種類と量は、「障害程度区分」や「サービス利用意向聴取の結果」等を踏まえ、市町村が定める「支給決定基準」に基づき、市町村により支給決定されます。自立支援法では、「支給決定基準」を各市町村で作成することが望ましいとされています。ただ、名古屋市の場合は、10月には間に合わないらしく、来年3月いっぱいまでは、現在利用しているサービス(外出介護をのぞく)がそのまま利用可能となりました。市外の方は市町村へ確認して下さい。

Q: 外出介護はどうなるの？

A: 市町村が担当する「地域生活支援事業」のひとつの「移動支援サービス」という名前に変わ、各市町村が決めた基準と利用者負担となります。ただ、「重度訪問介護」の対象となる人は、これまで通りそのサービスの中で外出が可能です。名古屋市は、下記のような基準を決めています。

対象: 重度の視覚障害者(児)、全身性障害者(児)、知的障害者(児)、精神障害者(18歳未満含む)で、単独で外出することが困難な小学生以上の人

① 社会生活上必要不可欠な外出

サービス量: 行政が認定

種類: 社会福祉施設への通所/医療機関への通院/行政機関での手続き/郵便局、金融機関での手続き

／食料品など日用品の買い物／理美容院の利用／小、中、高への通学／学童保育所、トワイライトスクール、児童デイサービスへの通所／その他冠婚葬祭などの社会生活上必要不可欠な外出

②その他の外出

サービス量:月に36時間以内、中高生は月24時間以内、小学生は月12時間以内

負担:1割負担だが、本人(18歳未満は保護者)の所得による上限設定。生活保護世帯0円、市民税非課税世帯4,800円、課税世帯7,200円

*ただし、国の制度である福祉サービスと市町村が担当する「地域生活支援事業」を利用した場合の負担額が、国が定めた上限額を超える場合は、いったん支払い、請求するとあとからもどってる仕組みを導入。

Q:現在日常生活支援を利用しています。区分3以下が認定された場合、どうなりますか？

A:程度区分3以上で、現在日常生活支援を利用して、日常生活支援と外出介護の月の支給決定時間の合計が125時間を越える人は、障害認定区分の有効期間中に限り、重度訪問介護の対象となります。

Q:現在授産施設で働いていますが、給料より自己負担額が多くて何のために働いているのか…。何とかありませんか？

A:6月26日の障害保健福祉関係課長会議で、工賃控除の見直しがありました。入所型の授産施設では、約4万円までの工賃について1割の定率負担をゼロに、通所型の授産施設では、社会福祉法人減免対象者の収入基準額から、障害者本人の工賃等による就労収入については年間288,000円を控除することになりました。全国の授産施設の1ヶ月の平均賃金は13,000

0～16,000円、障害基礎年金は1級で83,000円、2級で66,000円という現状。「働いて収入を得るためになぜ多額の利用料を払わなければならないのか？働く意欲がそがれるほど、全く理解できなくなりました。」これは、通所授産施設わだちコンピュータハウスの「施設利用料1割負担不払いに関する決議」の中の文章です。わだちコンピュータハウスの障害を持つ仲間たちは、利用者全員の合議により、障害者自立支援法のあまりにも大きな矛盾に抗議し、原則1割の利用者負担を不払いとすることを決議し、理解が得られない場合は、裁判に訴えてでも世に働きかけていく覚悟で、今日も闘っています。詳しくは、こちらをご覧ください。



<http://www.aju-cil.com/>

名古屋市の障害者日常生活用具

10月から「自立支援法」の地域生活支援事業(市町村が実施する事業)となります。これまで補装具対象だった「ストマ用装具(紙おむつ等含む)」は、日常生活用具へ移行します。また、障害のある本人(18歳未満の人は保護者)の市民税所得割の額が50万円以上の人は対象外となります。

利用者負担:原則1割の定率負担

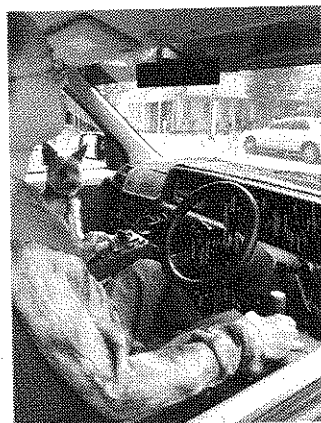
※ストマ用装具(紙おむつ等含む)の給付については、障害のある本人(18歳未満の人は保護者)が市民税非課税の場合は5%の負担。

※現在と同様に各種目には、給付限度額が設定されており、限度額を超えた額については全額自己負担。

負担軽減:生活保護 0円、市民税非課税15,000円、市民税課税 37,200円

ジョイスティックで運転する車

読者の皆さんお久しぶりです。大阪に国産車をジョイスティック操作で運転している方がみえると聞き、取材に行ってきました。これまでジョイスティック操作の車は、運転装置も車も海外から持ち込んでいてメンテが大変だったり、高額でなかなか踏み切れないところがあったので、期待がふくらみますよね。寝屋川市京阪線香里園駅の近くにお住まいの谷口さんのお宅に伺いました。



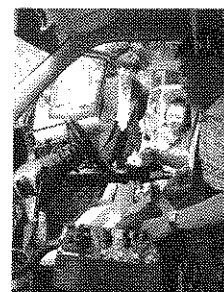
乗り降りまですべてラクラク！

まず車を見せて頂くことになり、駐車場では狭いということで、谷口さんに駐車場の外へ車を出してもらいました。谷口さんはあれよあれよという間に簡単に車に乗り込み、エンジンをかけて狭い駐車場でハンドルを切り返し外へ車を動かし、またまたあっという間に降りてきました。障害の状況とあまりにもスムーズな一連の動作に驚きました。

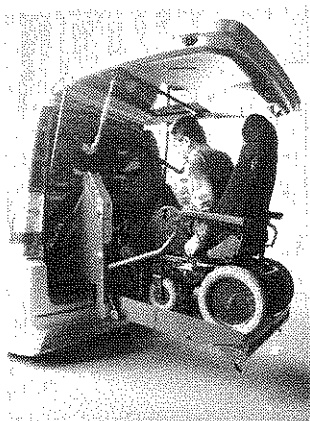


克己、いざ試乗！

手元のリモコン操作で、フゴン車のバックドアをあけ、リフトを降ろします。電動車いすでリフトに乗り込み、またリモコンでリフトを操作して車



内へ。ホントにとっても簡単。僕はリモコンと電動車いすのジョイスティックしかさわっていません。そして、電動車いすを操作して運転席の床にある固定装置に電動車いすの下につけた金具をジョイントさせて固定は終わり。そして、シートベルトは既に通常ある左側のジョイント部分に差されているので、バックドアから運転席につくだけでシートベルトの装着も終了。ハンドル操作(*1)は、右側にあるジョイスティック。左側の四角い箱は、ギアチェンジやウインカー、ライトなど使う頻度の高いスイッチを使



谷口さんのプロフィール

31歳、男性

身体状況：筋ジストロフィー症、室内外とも電動車いす使用、入浴、就寝にヘルパーを利用
生活の様子：彼女と二人住まい、第3セクター方式の株式会社ダイキンサンライズに勤務。家にいることがあまりお好きじゃなく、休日はぶらぶら街を歩いたり、ドライブしたり、まとまったお休みは海外旅行されたりしているそうです。

しやすい場所に配置した各種スイッチパネル。身体状況で左右を入れ替えたりなどカスタマイズができるそうです。ジョイスティック操作はとても軽くできているので、握力や腕力のない障害のある人も動かすことができます。ジョイスティック操作時に余分な力が入る可能性がある脳性まひの人がこの車を運転する場合は、力を入れすぎてレバーが動きすぎないように調節することができるそうです。

谷口さんにインタビュー



Q:この車を知ったきっかけは？

A:以前、ジョイスティックで運転する車『ジョイバン』をテレビで見て問い合わせをしたんだけど、その時は外車であることと故障が多いことを聞いてあきらめました。でも、だんだん運転が大変になってきたので、ホンダの人に調べてもらっていて、たまたまその人が新聞かテレビで今のジョイスティック車を見て、フジオートさん(*2)とつながりました。

Q:買おうと思った経緯は？

A:以前は運転装置をつけて運転していたのですが、だんだん障害が重くなって、乗り移りと運転が難しくなってきたんです。会社までは約10キロあって、電車で通えないこともないので、天候の悪いときなども考

えると、人の手を借りずに自由に移動できる車が必要でした。

Q:ホンダのステップワゴンを改造されたようですが、この車種を選んだ理由は？

A:電動車いすのまま運転したいので、ワンボックスカーが条件でした。好みでホンダのステップワゴンを選びました。ホンダを選んだのは、ホンダの担当者が親切だったのと改造のパーツの種類が多かったからです。

Q:電動車いすはその時使っていたものですか？

A:いいえ、運転席の基準にあうものということで、ヘッドレストがついたシート型のマツナガの電動車いすを購入しました。約70万円でした。

Q:免許の書き換えは必要ですか？

A:はい。それではじめは車を見せるだけでいいような話だったのですが、教習所で10回ぐらい練習して試験を受ける事になりました。運転は慣れれば問題なかったです。

Q:おいくらぐらいかかりましたか？

A:改造費に800万ぐらいかかりました。内訳は、運転装置に約500万、自分で乗り込めないという意味がないのでつけた、リモコン操作のバックドア（リアゲートオープナー）とリフトが約100万、電動車いすで乗り込むために、床をフラットにして、運転席を掘り下げて、車いすの固定装置を付けるという改造に約200万。お金は親に借りて、今毎月親に返しています。

Q:今まで何かトラブルはありましたか？

A:大きなトラブルはアクセルが利かなくなったのと後ろのドアがスイッチの故障で閉まらなくなったこと。初めての国産のジョイバンだったので細かいトラブルはいろいろありました。アクセルが利かなくなった時は本社まで運んで修理しなければいけませんでした。

Q:もっとこうだったらという点がありますか？

A:装置に関しては特にありません。ただ、見た目のデザインの部分はもうひとつ。あとは、故障の時に代車がないのは困りますね。それから、装置を付けた分重いのので燃費が悪い。

Q:欲しいなと思っている人に一言

A:高いと思うかもしれないけれど、雲をつかむような物ではないですよ。生活の一部が大きく変わります！僕はいい物を作ってくれたと思っています。やはり国産車の方が何かトラブルがあったときにも安心。みんなまで買って値段を下げましょう。

克己の感想

僕は勝手に谷口さんの障害を頸椎損傷と思いこんでいたので、お会いしてまず驚きました。そして、車いすマークのないエア口付きの若者車に更に驚き、あっという間に乗り込み運転されたのを見て更に更に驚きました。これはすごい！重い障害を感じさせない車でした。まだ金額的には躊躇してしまう所ありますが、車に乗りたいと思っている皆さんに参考にして頂ければと思います。当の谷口さんも、あまりご自分が障害者だという意識はなく、自然体で日常生活を送られている印象でした。小学校時代に発症されたそうですが、中学までは地域の学校に通い、高校は養護学校へ（高校受験に失敗して選んだとのこと）。就職先がなかなか見つからず、訓練校をへて今の会社へ入社。組み立ての軽作業をしていたそうですが、約6年前に障害が重くなり現在は事務職。結婚されていて、自宅にはかわいい犬と海水魚がいました。今まで自分が出会った障害者とは全く違う印象を受けました。ただ、就寝と入浴のために利用しているヘルパーの自己負担がいつきに増えたため、遊びに行く回数を減らしたとおっしゃって

ました。支援法の影響はどこも同じだと感じました。

(*1) Jドライブシステム

手動運転装置では運転が難しい人のためのシステム。

(*2) 有限会社フジオート

障害者、高齢者向けの自動車運転装置の開発、製造をしている会社

<http://www.fujicon.co.jp/new.html>

本社：東京都小金井市関野町1-5-1

TEL:042-384-6090 FAX:042-384-6030

E-Mail:info@fujicon.co.jp

名古屋支店：名古屋市港区当知1-1504

フリーダイヤル0120-225478

TEL:052-389-5850 FAX:052-389-5870

* 今回の取材は、名古屋支店の藤田さんよりご紹介いただき実現しました。当日もご同行いただきました。ありがとうございました。

おまけ～車いすのまま運転できる車

『ミラ・セルフマチック』

仕様：専用の手動車いすを使用、自動乗り込み装置が付いているので、リモコン操作でらくらく運転席へ乗り込める。

メーカー：ダイハツ

車種：ミラ、軽自動車

価格：200万円（ベース車の約100万円アップ）

http://www.daihatsu.co.jp/showroom/lineup/tokusha/friend_m_self/index.htm

『ポルテ ウェルドライブコンセプト』

仕様：専用の簡易電動車いすを使用、助手席の電動スライドドアから、自動乗り込み装置で乗り込み運転席へ乗り込む。標準で手動運転装置が付いている。

メーカー：トヨタ

車種：ポルテ

価格：未定

<http://toyota.jp/welcab/conceptcar/>

アジアの障害を持つ仲間の暮らしと支援

6月26日、梅雨の激しい雨に打たれながら中部国際空港(セントレア)を車いす利用者5名を含む総勢9名でタイへ向け旅立ちました。このツアーは、これまでも本誌でその活動を紹介した『アジア障害者支援プロジェクト』の活動の一環。昨年このプロジェクトに関わり始めたばかりの新米の私がツアー報告をします。



アジア障害者支援プロジェクトとは

障害を持った仲間を中心に活動する「障害当事者支援プロジェクト」です。2002年に、アフガニスタンの戦争被災者へ、障害を持つ我々の仲間“小倉國男”さんが、400台の車いすを直接手渡しして支援する活動を行いました。その活動をきっかけに、アジア各国の障害者団体からの要請に応えるため、国内外の障害を持つリーダーとのネットワークを使って、アジア地区へ車いすを送る活動を行っています。これまでに約800台の車いすを送りました。

ツアーの目的

- 障害を持つ人の自宅訪問や当事者団体の訪問を通して、タイの福祉の現状を知る
- 日本とタイの障害当事者との交流を通して、タイの障害を持つ人の自立支援をめざす
- 「アジア障害者支援プロジェクト」で送った車いすを利用している人を訪問し、交流を深めると共に、プロジェクトの活動についての理解を深める



ツアーの行程 (4泊6日)

- 1日目 到着後、夕食を兼ねた交流会
- 2日目 スカイトレインと地下鉄体験乗車、観光
- 3日目 団体と障害のある人の自宅訪問(各2件)
- 4日目 団体訪問 (2件)
- 5日目 フリータイム
- 6日目 午前中、セントレアにて解散

タイの障害者福祉

<所得保障> 重度の貧困状態の障害を持つ人を対象に、上限月500バーツ(約1,500円)の年金制度がある。しかし実際は300バーツ(約900円)ぐらいしかもらっていない人が多いそう。

*タイの物価：首都のバンコク周辺では、大卒(事務系、新入社員) 8000~12000バーツ/月(約24,000~36,000円)、屋台の食事(ご飯+おかず) 30バーツ(約90円)

<介助制度> ない

ただ、TIL(タイ自立生活センター)が政府の予算編成時に国に計画書を出して取ってきたお金を、3つの県のCIL(自立生活センター)に分配し、その予算の中でPA(パーソナルアシスタント=介助者)を派遣している。各県のCILでも地方行政と交渉して予算を出してもらう努力をしている。今回行ったノンタブリ県で自立生

活をしながらPA派遣制度を利用している人は20人。そのうち完全に一人暮らしをしているのは一人。タイは家族と離れて生活する習慣がないようで、同居率が高いそう。ノンタブリのCILでは、一年に15人ぐらいつつ自立生活の技術研修を行っていて、その参加者（障害当事者）が研修終了後にPA制度の利用者になるケースが多い。

PAの時給:50バーツ（約150円）。ただし、4時間以上の場合是一日200バーツ（約600円）。

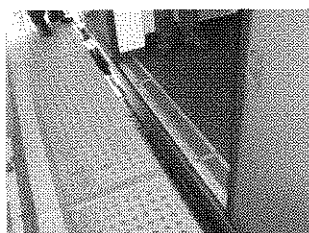
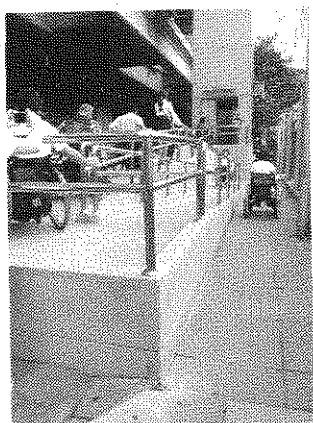
利用できる時間:各利用者には月に何日まで、というように基本的な限度が決められていて、その範囲までのPA費はCILの予算から出されている。

PAの育成、登録、派遣:ノンタブリ県の他2県にあるCILで行っている。

PAの募集:CILが定期的にPA研修を主催していて、その参加者名簿をそのまま利用している。

タイのアクセシビリティ

○BTS（スカイトレイン）



概要:1999年にできた道路の上を走る鉄道、建設計画から「誰でも利用できる設備を！」と要請書を出してきたが、資金難から2転3転。しかし、根強い運動とその盛り上がりで主要駅にエレベータを獲得した。

設備:23駅中エレベータのある駅5駅。

*エレベータは、長くて勾配のある折り返しのスロープを登った所（雨期を考慮）にあり、直接ホームへあがる1機のためのため、通常は鍵がかかっていて係員を呼び必要がある。

*身障はトイレはない（トイレ自体がない）

料金:10~40バーツ（約30~120円）、障害者手帳保持者はエレベータ付きの駅から乗る場合のみ無料

車両:ホームと車両の段差は3cm程度。

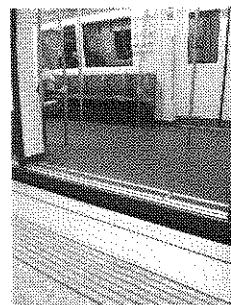
○地下鉄

概要:2004年に完成、日本の出資で作られたらしい。障害のある人達がドイツの地下鉄を参考に、バリアフリー設備を提案し実現した。

設備:全駅エレベータ付き、全駅かは不明だけれど身障トイレあり（鍵がかかっている）。エレベータは、改札階行きとホーム階行きがあるので自由に使えるが、やはりエレベータ入口は地上にはなくて、スロープであがる。

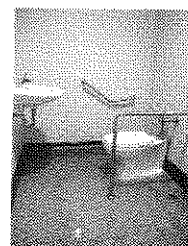
料金:14~36バーツ（約42~108円）、身長120cm以下は無料。

車両:ホームと車両の段差は3cm程度。車内は車いすスペースと固定ベルトあり



○「障害者のアクセシビリティ法」

1999年に施行され、建物、移動手段、その他のサービスを含むすべての公的機関は障害者がアクセスできるようにしなければならないことを規定している法律。しかし、日本と違って法律はできるが、それを守らせることがとても大変とのこと。今年オープンするタイの新国際空港もその法律を適応すべきなのにそうしていないので、障害者団体は今訴えるしかないかと検討しているところとのこと。



サン君を訪問

アジア障害者支援プロジェクトで、半年前に電動車いすをお渡ししたサン君（小学3年生）に話を聞くため、彼が勉強している「シーサワン肢体不自由児学校」を訪問。サン君は『五体不満足』を書いた日本の乙武くん（おつむくん）の状況とよく似ていて、手足がとても短く、電動車いすを右腕で操作していました。



Q:どんなことが好きですか？

A:算数。友達とサッカーするのも好き。ゲームも好き。

Q:電動車いすで動くようになってよかったことは？

A:（以前は手動車いすだった）自分で自由に動けるようになったことがよかった。デパートなどによく遊びに行きます。

同席した校長:「義肢と義足をとても高額なお金を使って製作したが彼にあわなかった。彼にあなた達はどんなことができますか？」

A:日本の乙武君を紹介。義肢義足がなくても、そのままの状態で色々な工夫をして活躍している人がいることを伝えた。

タイの肢体不自由児養護学校

障害児の義務教育は1980年から始まったが、この肢体不自由児学校は1965年に設立。肢体障害児用はタイ国内に2ヶ所。幼稚園から中学3年生まで。タイの義務教育も中学まで。マンモス学校で、280名（寄宿生137人、通学143人）が在籍。通常の教科の他にPT・OT訓練がある。クラス分けは学習能力別

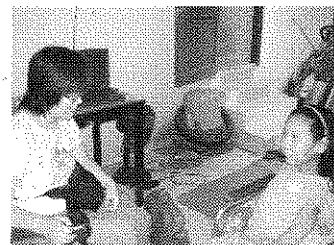
<参加者の感想>

- ・ あれくらいの子が考えていることは、タイも日本も同じなんだな。
- ・ 印象的だったのはサン君の関係者が義肢を作るのに、「支援してもらえないか」言ったところ。タイに住む彼にただものやお金を与えることが本当の支援にならないことの意味を感じさせられた。何でもそうだけど途上国への支援は物資だけでは不十分だということを実感。でも送った車いすを自由に乗りこなしているサン君に会えたことは今後車いすを送るという支援にもっと自分も意識をもっととりくもう！と思わずにはいられなかった！

プさんを訪問

2,3年前にお渡しした手動リクライニング式車いすを使用しているプさんの自宅を訪問。彼女の身体状況は、指先を自由に動かせる他はほぼ全介助。

プさんの話し:04年に、ノンタブリ障害者協会が開催した学校へ行っていない人のための「勉強しよう」というプログラムに



参加して1ヶ月勉強した。そして、昨年4月より、地域の学校へ行けない人のための教育をしている「ノンタブーム」へ入学して、毎週日曜日に通っている。PA（パーソナルアシスタント）として両親に介助を依頼しているが、そろそろ親と一緒に飽きてきたそう。障害者協会などの運動の際は必ず参加していて、昨年の半ばからは、自立生活センターのPAのコーディネートの仕事などを時々手伝っている。

Q:これからしたいことは？

A:パタヤに職業訓練校があるという情報を得

たので行きたいと考えています。ただ、介助者が…。日本にも行ってみたい、でもお金が…。」
現地コーディネータ(車いす使用):PA(パーソナルアシスタント)を探せばいい。日本へ行きたいければ奨学金などを申請すればいいよ。

*すかさず情報提供する現地コーディネータの様子を見て、タイのILP(自立生活プログラム)をナマでみた気がした。

<参加者の感想>

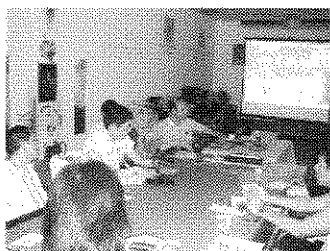
- ・プさんはとても目に力のある人だった。私はとても彼女に引きつけられた。以前会ったことがあるという参加者から、「前とは表情が全然違う。前は本当に弱々しい感じだった。」と聞き、たった一台の車いすが彼女の人生に与えた影響って本当にすごいと思った。また会いたい。
- ・介助者が全部両親…。なかなか自由に行動出来ないんだとかんじた。また、文化の違いもかんじました。

アジアの障害当事者支援

障害者インターナショナル(*1)アジア太平洋ブロック(DPI-AP)訪問

議長のトポン氏(頸随損傷)に話を聞いた。

現在アジアの26カ国が加盟しており、近い将来ベトナムやミャンマーも加盟するだろうとのこと。ホテルの環境改善にも



力を入れているらしく、「まかせず一緒に取り組むことが大切。支援したい人はいるがどう支援していいかわからないので、その方法についてDPIが市民に伝えるべきである」と語っていた。また、女性のリーダーシップ研修も99年からラオス、ベトナム、カブール等で行ってきた

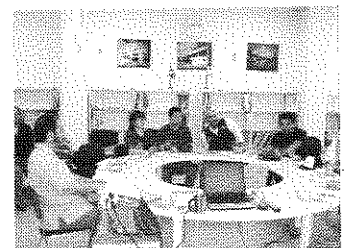
とのこと。障害者運動により、社会の中における障害を持つ人の支援は、「同情→リハビリ→エンパワメント→人権を勝ちとる」という段階に進むと考えられている。タイは「リハビリ→エンパワメント」の段階である。自助団体は、環境を変え、また同時に仲間を育てるために、計画を立て進めているとのこと。

(*1) DPIとは、1981年に設立された障害のある人自身の組織で、「我ら自身の声」をスローガンに、障害を持つ人の完全参加と機会の平等化を進めている組織。

アジア太平洋障害者開発センター(APCD)訪問

チーフアドバイザーニ宮氏に話を聞いた。

このセンターは、「アジア太平洋障害者の10年」(1993~2002)の取り組みに続き、アジア地域の障害者のエンパワメントを促進するために、02年8月1日、タイのバンコクを拠点として設立。タイ王国政府と日本政府(JICAを通して支援)の共同後援のもとで、アジア太平洋地域の障害者(約4億人、10人に1人)を支援するプロジェクトで、各国への「情報提供と共有」、「人材育成」を行っている。今、地域に根ざしたリハビリテーション(CBR)が必要で、農村のアクセシビリティに力を入れている。もはやバンコクは途上国とは言えない。バンコク以外もみるとよい。『現状を知る、声を聞く、そして、共感し、わかりあい、支え合う』これが福祉の原点だと考える。「障害者が社会をよくする」どの社会においてもマイノリティといわれる人が豊かに生活できる社会になれば、それはすべての人が豊かに生活できる社会になるということ。そのためには、人材の育成が鍵。ぜひ協力を



して欲しい。これまでに、26ヶ国550名の研修を実施、35ヶ国とは協力する約束をしている。

<参加者の感想>

- ・タイと日本のシステムの違いに働いている方々も歯がゆい思いをされていた。お金だけの支援ではなく、人材を育てることに重きを置いていることを知り、大変ためになりました。
- ・アジアには世界の6割の人口が住んでいて、4億人の障害がある人がいる。世界のどの地域も「良い」社会にするにはこのアジアが声をあげて、活動する重みがあると思った。それぞれの国で力をつけていくことが大切だということがよくわかった。もっと知りたい。

参加者の感想抜粋

- 障害を持つ仲間の自宅を訪問して、生活状況の違い、文化の違いに驚き、考えさせられた。でも、したいことは僕たちと一緒になんだ。
- 私達日本の障害者の数十年前は、今のタイと同じでした。今日があるのは、声を上げ、普通に生活できる社会を実現させるために頑張ってきて下さった人々の力のお陰です。今、よちよち歩きで一歩ずつ前に歩み始めたタイの仲間達にエールを送り、少しでも日本の私達にできる事があればと思いました。
- たまたまタイの障害者団体のデモに参加できて、とてもいい刺激になった。
- 日本から送った車いすが、タイの仲間の生活にどう役立っているかよく分かった。
- 屋台の料理が美味しかった。オプションツアーはとても楽しかった。
- 今回の経験を、小学校、中学校での総合学習で語りたい。
- ただ楽しいだけのツアーじゃなくて、いろいろなことを考えさせられるツアーでした。
- 体力的にも心配しつつ出かけた旅行でしたが

とても有意義な旅でした。これからもこの企画が継続され、一人でも多くの方が何かを感じ取って下さることを願います。

- 改めて障害をもった人が声をあげること、動くことの価値が社会全体から見た場合でも意味があることを感じた。そしてその先に勝ち取ろうとしていることは本来人として持つべき権利だということ。ならばそれを獲得するためにはやはり運動がまだまだ必要である。
- 日本と比べると、制度にしても設備にしても明らかにまだまだ整っていない現状なのですが、そこに住む人たちが困っている状況の人に手をさしのべる自然さは日本にはないものでした。でも、タイの障害のある人は、「人がやさしいだけではダメ。人は状況によってはやさしくしたりやさしくしないこともできる。そうではなくて、誰でも当たり前で生活できる権利が必要」と語っていました。なるほどその通り！お国柄の違い、同じ部分何をとっても色々考えさせられる旅でした。たくさんの方に参加して欲しいツアーです。

次回のツアーへのお誘い

日程:11月27日(月)～12月02日(土)

参加費:一人12万円(内1万円はコーディネート料と活動援助金として受け入れ団体へお渡します)

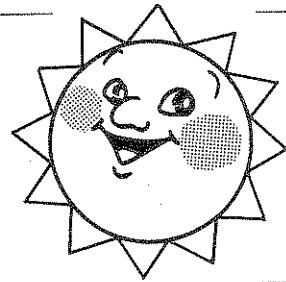
募集:15名(障害当事者 介助者含む)

その他:中部国際空港以外の空港からの出発も相談に乗ります。また、異国の地への旅となりますので基本的には各自で慣れた方を手配していただく方が安心かと思いますが、介助者が見つからずお困りの場合は、下記事務局まで。

問合せ・申込み:アジア障害者支援プロジェクト
名古屋市恵方町2-15 サマリアハウス内
TEL:052-841-5554 FAX:052-841-2221
担当:小長谷(こながや) 木下(きのした)

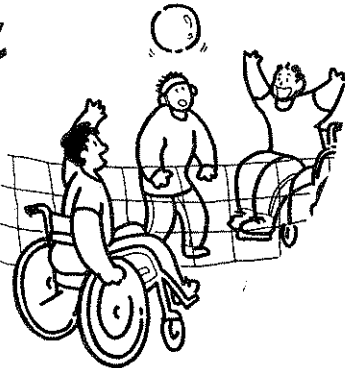
レクリエーション 旅行先で楽しむグッズ

旅行先での風物を楽しむのも楽しいものですがお仲間と一緒にしたらこんな遊びも計画してみてください。普段と違う遊びに興じるのがレクリエーションの極意です。



★ ビーチボール

外遊びの道具としては、定番ですね。大きさもいろいろありますし、携帯に便利です。



解放的で広いところ

で使うと気持ちのよいものです。手の感触がよいビニールの素材で十分ですが、最近ではボールの素材もいろいろ工夫されています。上肢が使いにくい方は手にしっかり密着し軽いものがおすすめです。

★ 紙風船

紙風船は、たたいてもなかなかつぶれないし、携帯も便利です。

お祭りなどは、特大の紙風船も手にはあります。団扇を使って羽根つきのように打ち合うのも一興ですね。



★ 紙飛行機

滞空時間を長くするには、紙飛行機の作り方を工夫します。それも楽しいものです。青い空、広い野原があればもっと楽しい気分になれます。

★ フリスビー

frisbeeは、投げ方に工夫がいります。形が皿投げに似ています。厚紙を円形にして代用してもよいのです。重さや大きさを換えてできるだけ遠くに飛ばす競争をしてみましょう。平なfrisbeeを飛ばすので手の関節の痛みのある方は、サポーターを利用するか軽いものを作成して挑戦してみましょう。無理のない範囲で！

ゲームが面白くなる ルールの工夫

★勝ち負けがはっきりするようにする工夫

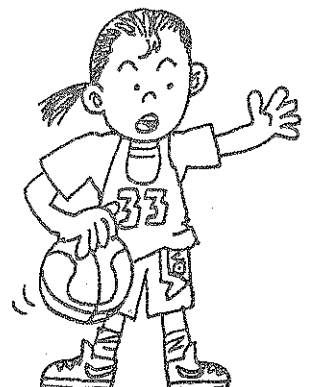
レクリエーションの中でゲームをするときには、みんなが楽しめる工夫が必要ですがゲームである以上、勝負の面白さがそこなわれては残念です。

①時間を競う

ハンディーを作るのもゲームの内になると、ゲームへの関心が高まりますし幹事さんの負担も少なくなります。ハンディーなしももちろんあります。

②敗者復活のチャンスを！

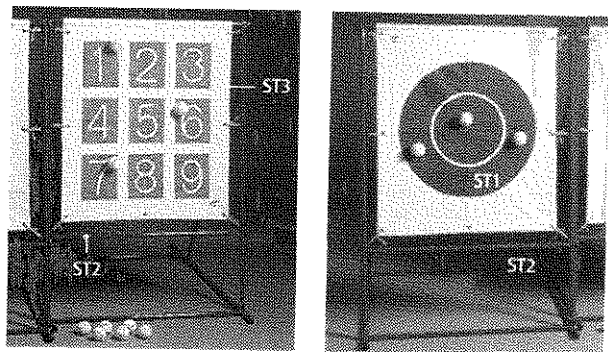
③勝っても負けても商品を！



遊んでみたい レクリエーショングッズ

スティックボール

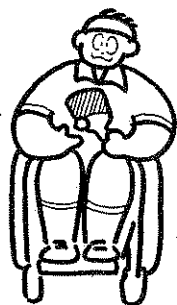
ダーツのように的にボールを当てて点数を競うゲーム。



丸的	1枚	13,650円
ナンバー的		15,750円
ボール1ダース		4,200円
フレーム		38,850円
的のサイズ	L 92cm×W78cm	

ラケットテニス

スポンジボールとテニスラケットより短いラケットでプレーするテニスです。コートは、バドミントンのダブルスコートを使用。短いラケットは使いやすく、スポンジボールはスピードが抑えられるためラリーが続きやすいのが特徴。2～4人でプレイします。



ラケット 1本	4,200円	(重さ約250～300g)
テニスボール 1ダース	3,024円	
ネット 1張	15,750円	

■ 日本レクリエーション協会

ホームページにもたくさん情報があります。スポーツ、行楽の秋、身体を動かしてみませんか？

東京都千代田区三崎町2-20-7

水道橋西口会館6階

TEL:03-3265-1241 FAX:03-3265-1245

<http://www.recreation.or.jp/>

■ 日本オートキャンプ協会

ホームページで車いすトイレ設置の有無がわかります。

東京都新宿区三栄町12 清重ビル2F

TEL:03-3357-2851 FAX:03-3357-2850

<http://www.autocamp.or.jp/index.html>

■ NPO法人プレジャーサポート協会

パラグライダーやスキューバーダイビング、スキーなど、障害を持つ人アウトドアスポーツチャレンジ支援をしている。

東京都墨田区江東橋2-5-1

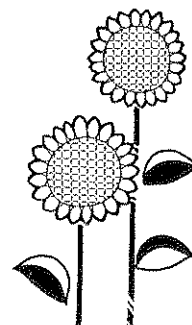
グリーンプラザ錦糸町203

TEL:03-5638-8008 FAX:03-5638-8008

<http://www.psa.or.jp/>

生活の道具相談室は 日常動作の見直し、道具作りの 相談にのっています

第1、第3土曜日の13:30～15:00まで、作業療法士などが交代で相談窓口を開いています。井戸端相談も可能です。お気軽にご相談下さい。日程は、本誌の裏表紙参照。



灯と太陽

堤 剋喜

ステンドグラスは、基本的に、建物と一体のもの。
建物を額縁に、窓ガラスをキャンバスにして描く絵。
外からの陽差しを受けて、窓ガラスの絵は色彩を帯びる。
太陽の光があるのは、日の出から夕刻まで。

人は夜も集う。
内側からの屋内照明は非力だし、光源の方向が逆になることもあって、
ステンドグラスを鮮やかに彩ることはできない。
夜の会衆が眺めるのは、黒地に輪郭線が刻まれた、色彩のないステンドグラス。

美術館の中は、たいてい『作品の保護のため館内の照明を暗くしてあります』。
でも、廃墟から発掘されたり、解体工事の前に取り外されたりしたステンドグラスだけは、
裏側から強力なライトを当てて、展示してある。
まるで住宅展示場の『二重ガラス窓の断熱性能』デモンストレーションのように。
ライトのスイッチを切ることが禁じられると、観覧者は、『夜のステンドグラス』と出逢えない。

ルオーの展覧会に出かけた。
ルオーの作品は何度も見たことがあるはずだけれど、
不勉強で、彼の経歴をほとんど知らぬまま、会場へ。

入り口近くの解説文で、ルオーが最初に修得した美術技法はステンドグラスの製作だったと知る。
なるほど、と思う。
写生と抽象の中間、単純化された輪郭線。
輪郭線に囲まれたひとつひとつの区画は、一色で塗りつぶされている。
絵の中で、色の変化がスロープではなく、段差になっている。
<パッチワークのような油絵。ステンドグラスと似ている。>

モノクロ作品のコーナーに進むと、
先ほど観てきた油絵と、同じモチーフ、同じ構図の版画が並んでいた。
<同じ場面を描いた石版画は、油絵の下書きや習作なんかじゃない。きっと、油絵と一対なんだ。
色のある油絵は昼。白黒の石版画は夜。>
と、独り、勝手に納得した。

一枚の版画の前で考え込む。
題名は「盲人も、時には目明きを慰めた」
<差別用語。言い換えるとしたら、視覚障害者と晴眼者か。
ちょっと苦しいなあ。障害者と健常者。・・・>
ふと、自問した。「僕も慰めることはあるかな？」とたんに緊張がゆるみ、身体が温まる。
<降参！僕のは屁理屈でした。あなたの作品の前で、単語の1つや2つは、些細なことです。>

人の作る灯は、陽の光にはとうてい及ばないけれども、夜、会衆を導くことはできる。

どんな場合でも、人は全能ではなく、過ちを犯すが、完全に無力でもない。

謙虚さの中に希望がこもったメッセージを、僕はもらった。

休憩に立ち寄った喫茶室で、ずっと前にどこかで読んだ詩句を思い出した。
『もし、私が誰かの胸の痛みを和らげることができれば、私の人生は無駄ではあるまい。』
(僕の記憶はこころもとないが、たぶん) ホセ・マルティの作

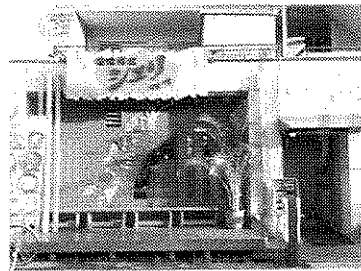
グルメな調査隊 第46弾

韓国料理 シュリ

場所：名古屋市名東区藤見ヶ丘54
TEL FAX 052-769-4884

<http://www.syuri.tokai.walkerplus.com/>

最寄り駅：地下鉄東山線「藤が丘」駅（エレベータあり）より徒歩1分
3番出口を出て目の前の信号を渡り、そのまま進み、1本目の道を右に曲がって（セブンイレブンが左手）少し行った所



名古屋市天白区の1さんより

HPで見つけたお店です。どれもおいしそうで迷いに迷い、みんなで5品注文して、わいわい食べました。店内は、アットホームな雰囲気。初めてサムゲタンを食べましたが、さっぱりしていておいしかったです！

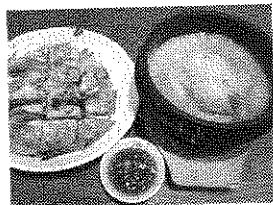
★ジャンル 韓国料理

★店長より

どれもスタミナたっぷりヘルシーです！おすすめは、“サムギョップサル”と“手作りサムゲタン”と“パジョン”。店は、高齢の方、障害を持った方、子ども連れのお母さんなどが来られることを考えてバリアフリーにしました。
1さんより：店長は韓国出身なので、本場の韓国料理が楽しめます♪

★おすすめメニュー

- サムゲタン（2～4人分／ひな鳥にナツメなど、漢方をつめてスープ仕立てにしたもの）2,500円
- パジョン（韓国風おこのみ焼き）900円
- その他、石焼きピビンバ 900円／ジャジャン麺 800円／チャプチェ 600円／サムギョップサル 1,500円



※ドリンクは、ビール、カクテル、サワー、ソフトドリンク等70種

※貸切可（30名～）、料理はコース3種（ウオンビンコース2,500円～）あり

※誕生日は、事前に連絡があればプレゼントあり

★店内の様子

入り口：開き戸、少し急なスロープ、戸の敷居で1箇所段差あり（4cm）

店内：段差なし、入ってすぐに上りスロープあり。※通路に予備のイスが置いてありますが、店



員さんがどけてくれます。テーブル38席（奥の壁側は固定イス）、カウンター7席、テーブルの高さ70cm、テーブル下スペース67cm、イス移動可、座敷12席

障害者トイレ：なし。洋式トイレあり（入り口幅62cm、段差1段5.5cm、一枚手前開き戸、レバー式洗浄、手すりなし）

最寄りの障害者トイレ：地下鉄藤が丘駅に1ヶ所

★身障者用駐車場 なし。一般駐車場は、提携の名鉄協商パーキング（駅の東、約50メートル先にある）食事のあと駐車券を提示すると1時間半のサービスあり。

★営業時間 火曜定休 17:00～24:00

★サポート倶楽部特典

飲食代が、10%OFF（期限なし）店員に、サポート倶楽部会員証を提示して下さい。

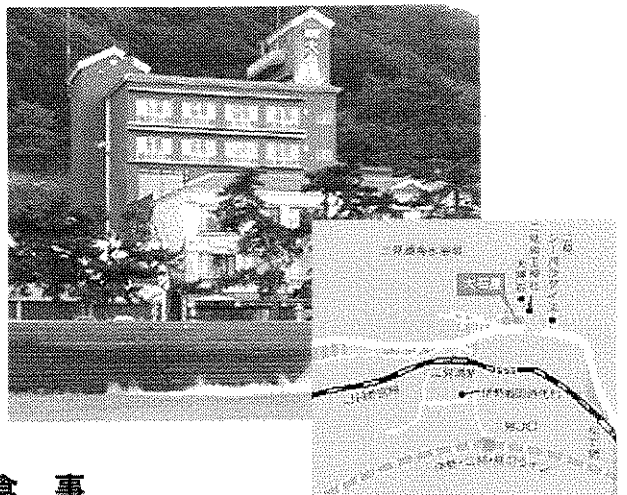
伊勢志摩国立公園二見浦 夫婦岩前 素心の宿『大石屋』

〒519-0602

三重県度会郡二見町江569-75

TEL 0596-43-2074 FAX 0596-42-1617

<http://www.oishiya.co.jp/>



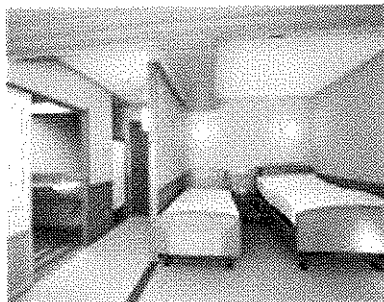
明治20年に創業された老舗旅館で、2001年に全館を新装した際バリアフリー化されたそうです。バリアフリールーム、禁煙フロアの設置等ハートフルな旅館を目指しています。素直な心"素心"のおもてなしと、和の空間で安らげるお宿です。

◎バリアフリー客室

部屋数: ツイン 1室 中庭に面している

料金: 2名1室利用、1泊2食付 一人15,000円
(サービス料、税込) ~

広さ: 部屋全体が広くゆったりしたスペースになっているので、電動車いすで十分回転できる。車いすの高さの小上がりもある。



ベッド: 客室にあ

う和テイストの電動リクライニングベッド(シングルとセミダブル各1)あり。ベッド間スペース62cm。

浴室: 入口幅70cm、段差なし。シャワーチェア・風呂マットの貸出あり。浴槽周辺に手すりあり。

トイレ: 左右に可動式手すりあり。便器のふたはセンサーで自動開閉する。

アメニティー: タオル、歯ブラシ、石鹸、シャンプー、リンス、ティッシュ、シェーバー、浴衣

◎食 事

場所は、部屋食、宴会場、旬鮮食事処から選択可能。2日前までに申し込みれば糖尿病などの特別食も準備可能。

◎大浴場 (ラジウム鉱石泉)

大浴場: 2ヶ所。手すり付き、サウナと露天風呂の出入り口に一部段差あり。

貸切風呂: 2ヶ所。手すり付き

5:00~23:00 無料

*貸出シャワーチェア、風呂マットあり

◎館内車いす用トイレ 1カ所 (1階)

◎貸出用車いす 1台

◎駐車場 乗用車50台無料(身障者用駐車場はないが、連絡すれば玄関前で乗降できて、スタッフが駐車場へ運んでくれる)

◎アクセス

<電車で> JR二見駅(エレベータなし)から旅館のマイクロバスの送迎があるが、車いす対応ではない。車いす利用の場合は、エレベータ付きの宇治山田駅で降りて、宇治山田駅発のノンステップバス「CANバス」(*いろいろ情報参照)に乗り、二見浦表参道下車、または夫婦岩東口で下車すると徒歩約10分程度。今後車いす対応車両を導入する予定はないか聞いてみたところ、「車両買い替え時期の際、機会がありましたら考慮いたします。」とのこと。<車で> 伊勢自動車道伊勢I.C. 経由、伊勢・二見 鳥羽ライン二見浦JCT下車、R42にて3分。

★周辺の観光名所 夫婦岩徒歩約5分、二見浦海水浴・二見シーパラダイス徒歩約7分など

チケットラベル ハートTOハート

トルコ9日間の旅

東西文明の十字路口と呼ばれるトルコは壮大な歴史があり、13にもものぼる文明の残した歴史的遺産の宝庫。トルコ人は親日家として有名です。人々の暖かい心にも触れられる旅です。

期間: 10月8日(日)～16日(月)
料金: 428,000円(2名1室利用)
出発: 成田・中部・関空・岡山・福岡
ポイント: 添乗員同行、専用バス使用

イタリア憧れの街めぐり9日間

連泊を基準としたゆったりコース。それでいてローマやフィレンツェ、ベニスなどの有名観光地はすべて含まれています。最新ファッションはミラノからと言われる都市を最後に観光できます。

期間: 10月20日(金)～28日(土)
料金: 478,000円(2名1室利用)
出発: 成田・中部・関空・岡山・福岡
ポイント: 添乗員同行、リフトバス使用

アンコールワットとベトナム8日間

チケットラベル30周年 ハートTOハート10周年を記念した謝恩パーティーもあり、豪華賞品の用意あり。アンコールワットの遺跡群は、訪れる人々を不思議な世界へ導いてくれる世界遺産として必見。

期間: 11月24日(金)～12月1日(金)
料金: 298,000円(2名1室利用)
出発: 成田・中部・関空
ポイント: 添乗員同行、専用バス使用、現地サポート付き

■申し込み・問い合わせ■

名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル6F
 TEL:052-222-7611 FAX:052-222-1223
<http://www.tictravel.co.jp/>

JTBバリアフリープラザ

6組限定・福祉タクシーでめぐる 世界自然遺産・白神山地の3日間

白神山地内には大型バスが入れませんので、3日間とも福祉タクシーに分乗して回ります。白神山地の自然と温泉を満喫下さい。

期間: 9月15日(金)～17日(日)
料金: [東京発] 139,000円(お一人様)
 [名古屋発] 139,000円(お一人様)
 [大阪発] 143,000円(お一人様)
出発: 羽田・中部・伊丹
ポイント: 添乗員同行、福祉タクシー使用

石垣・竹富&西表島めぐり3日間

南国沖縄の離島をめぐる新コースに取り組んでみました。水牛車やボートに乗っていただき南国の大自然と文化にふれられるツアー。

期間: 11月8日(水)～10日(金)
料金: [東京発] 148,000円(お一人様)
 [名古屋発] 155,000円(お一人様)
 [大阪発] 145,000円(お一人様)
出発: 羽田・中部・伊丹
ポイント: 添乗員同行、リフトバス使用

紅葉のメープル街道と ケベック・ナイアガラ8日間

カナダ東部の見どころを満喫しました。カナダの第2の都市モントリオールからメープル街道を通って美しい紅葉で有名なローレンシャン高原を訪れます。最後には世界一有名なナイアガラの滝壺へ観光船「霧の乙女号」でご案内します。

期間: 9月27日(水)～10月4日(水)
料金: 550,000円(お一人様) 10ミ-クラス
 1,100,000円(お一人様) ビジ-クラス
出発: 成田
ポイント: 添乗員同行、リフトバス使用

■申し込み・問い合わせ■

東京都港区芝5-34-2 春日ビル1階
 TEL 03-3456-5411 FAX 03-3456-5414
<http://www.jtb.co.jp/bfplaza/>

名古屋市のSさんより

イオン熱田店は、金山総合駅南口からスロープ付きのシャトルバスを運行しています。平日は、1時間に2



本、土日祝日は1時間に4本あります。金山駅南口に出るとシャトルバスの看板を持って立っている人が見えるので、その人を目印にしてください。車いすで乗車する場合はバスに常備されているスロープを取り付けてくれます。幅は車いすが通るのに充分ですが、勾配が少し急なので、手動車いすの利用者は乗り降りに介助が必要かもしれません。僕は電動の車いすで利用していますが、問題はありません。いずれにしろ乗降が難しい程急な簡易スロープではありませんから安心して下さい。でも、いつ乗っても混雑していますから、他の乗客の方にぶつからない様に注意して乗っています。

料金は無料。

場 所：愛知県名古屋市熱田区六野1-2-11

編集部：ありがとうございました。他の店舗でも車いすで乗れるシャトルバスを運行していないか問い合わせていますので、また報告します。

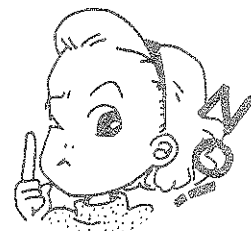
名古屋市のKさんより

「第22回DP | 日本会議大阪大会」へ行ってきました。僕は第一分科会の「自立支援法の成立に伴う地域生活に対する影響」に参加。

内容は、①パネリストがそれぞれの立場から現状報告、②それに関するまとめをコーディネーターがする、③質疑応答、という形でした。

行政サービスを利用することで経済的な負担が発生して大変だという意見がでていて、それに対して障害当事者が声を出していこうと言う流れではありませんでした。でも、「具体的に今後どの

様な行動をしていけばいいのか」とか、今後の突破口になりそうな話しはありませんでした。障害当事者が声を出すというスローガンは正しいけれど、声を出すことでいかにして地域移行を目指すのかが見えてこなかったもので、物足りなさを感じました。それだけ障害者運動が難しい局面にさしかかっているということだと思いました。



名古屋市の佐治さんより

私が自立の家の皆さんとお付き合いを始めたきっかけは、障害を持つ友人より紹介された『福祉情報誌』を持って発行所を訪ねたのがきっかけでした。



介護保険法が成立した平成11年夏の事。そのころ障害者手帳を持っている私は鉄道運賃について調べていました。11月、鉄道の連絡運輸取り扱いの体験勉強に、岐阜県養老町へ出かけた時に会った30代の主婦から、「来年より介護保険が始まりますが、私達は30年も前から、隣のおばあちゃんが風邪を引いたら水仕事をかわり、向かいのおじいちゃんが腰を傷めて寝付いたときは食べ物を運んだりとやってきました。今後はどうすればいいのか」と相談がありました。私は「介護保険は職業ですが、皆さんの心が優先されます。本来心のケアは近くの方がすること。」と回答しました。私は昭和58年に、津島の安藤病院の院長に、「治療は当医院で、心のケアは身近の人で」と教えられました。

私が介護認定を受けたきっかけは、自立の家の鬼頭氏の「脳血管障害の佐治さんは介護認定の受ける資格があると」という情報提供から、平成13年3月に審査、そして、5月に「要介護1」

と認定されました。その後、ショートステイに2回ほど、理学治療に冬季に限り3回程度利用しました。ステイ中にこんな事がありました。台風が来ていたので気になって、テレビの字幕スーパーを声を出して読んでみると、80代の高齢者が集まってきました。私は思わず「喧しくてすみません」と謝りましたが、実は、その方達は字幕スーパーを私に読んで欲しかったのです。よくよく聞いてみると貧しくて学校へ行かせてもらえず字が読めないのが、台風がどうなっているかわからないので心配だったようです。私は入所中の4日間は字幕スーパーを読み続けました。この高齢者の方々がいたからこそ今があるのに、時代の移りかわりにその存在は無視されています。平成18年4月、介護保険法の見直し、障害者自立支援法の成立で、障害者作業所が苦しんでいます。私のような脳血管障害は40歳から、その他の障害者は65歳から介護保険の適用となります。私は障害課に行くとバイバイと手を振られ、介護保険課で「要介護1」の認定を受けましたが、見直し認定では「要支援2」となりました。改正内容は認知障害が基本とのこと。これは、福祉の切り捨てです。私は、以前より仲間たちの実情を知ろうと尋ねるとプライバシーだからと拒否されてきました。皆さん一人一人が情報を出さず心に閉じこめていることを行政はよしと考えているようです。行政は嘆願書ではなく、本人が窓口へ口頭でも意見をいうと一人の意見として聞き入れます。今後は、『戦前戦後の障害者の生活』、『地上デジタル放送への切替と低所得者への配慮』を考えてみたいと思っています。最後に、『みなさん、国民健康保険の保険料の減免申請の時期です。書類が届いていると思います。申請しないとせつかくの制度も使えません。申請を忘れずに！』

名古屋市のTさんより

もうご存じかもしれませんが、「車いすユーザーだけではなく、ファッション性に優れ、健常者にもはけるジーンズ」が雑誌にありました。長時間、座った姿勢での生活の方や、立ったりしゃがんだりの動作の多い方におすすめのようです。今までの、ジーンズは生地が硬く、動きづらいという固定概念を捨てさせてくれます。頸随損傷の男性がプロデュースしているそうです。商品の詳細は下記サイトを見てください。

ピロレーシングチエアウオーカージーンズ

販売価格 26,500円(税込)

問い合わせ：株式会社アトリエロングハウス内

ピロレーシング事業部

TEL 03-3460-1168 FAX 03-3460-0995

東京都渋谷区笹塚1-47-1-113

<http://www.piroracing.com/jeans/shopping/item01.html>

高山でりんご狩りができるって！

通路も広く、車いすトイレもある観光農園のようです。どなたか行かれませんか？高山駅から車で15分ぐらいなので電動車いすを利用している私にはちょっと無理かなと思っていますが、せつかくの情報なので皆さんにお知らせします。事前連絡しておくのと、車をりんごの木の下に横付けできる場所をあけてくれるそうですよ。

美空野（みそらの）ファーム

岐阜県高山市江名子町3427

TEL 0577-32-4922 FAX 0577-369-5922

<http://www.hida-yado.net/shop/misorano/>

**お便りありがとうございました。
引き続き、お便り、情報などを
お待ちしております。**

〒466-0015 昭和区御器所通3-12-1 3F

AJU福祉情報誌編集部宛

TEL052-851-0059 FAX052-851-0159

しゃぶしゃぶの木曽路

読者の方より「多治見店に身障トイレができていた」という情報をいただき、さっそく問い合わせをしてみました。車いすで行けるお店がどんどん増えてきています！今回は中部地区のみの情報ですが、全国の店舗情報を今集めてもらっているの、また次回掲載します。

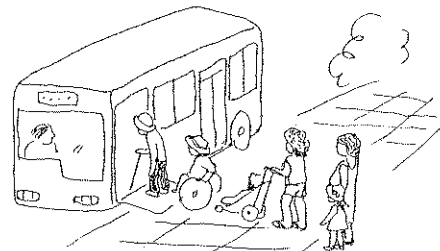
<車いす専用トイレ設置店舗>

- 木曽路錦店（11月17日オープン予定）
名古屋市中区錦三丁目20-15 TEL052-951-3755
- 東名店 名古屋市長区社台三丁目227番地
TEL 052-773-3431
- 栄店 名古屋市中区栄三丁目7-9 新鏡栄ビル
1F B1F TEL 052-264-1691
- 太平通店 名古屋市中川区太平通4-21
TEL 052-361-5144
- 笠寺店 名古屋市長区前浜通三丁目1-1
TEL 052-811-7501
- 一宮店 一宮市赤見1-1-1 TEL 0586-24-2970
- 岡崎店（10月16日オープン予定）
岡崎市柿田町1番6号 TEL 0564-25-6060
- 多治見店 多治見市音羽町四丁目2-2
TEL 0572-25-7077
- 四日市店 四日市市ときわ一丁目6番23号
TEL 0593-54-1171
- 津島店 津島市裁原町字椋木21
TEL 0567-22-2500
- 浜松柳通店 浜松市船越町33-20
TEL 053-411-9961
- 豊川店 豊川市長大通4丁目50番
TEL 0533-80-7705
- 春日井店 春日井市鳥居松町三丁目2番地
TEL 0568-84-0066
- 津店 市島崎町302-2 TEL 059-223-1777

伊勢二見鳥羽観光バス「CANばす」

三重県の伊勢や鳥羽の主な観光施設を結ぶバス路線に、昨年12月、ノンステップバスが導入されました。まだ全路線ではないのですが、タクシーでしか行けなかった観光地にも少し気軽に行けるようになりま

したよ。今号で紹介したお宿『大石屋』にもこのバス使えます！！乗り降り自由



なフリーきっぷには、観光施設の入場料金等の割引特典もついています。

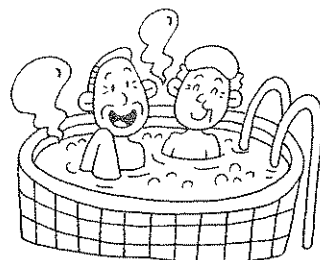
- 1日(1day) … 大人1,000円 小児500円
- 2日(2days) … 大人1,600円 小児800円

鳥羽バスセンターー鳥羽水族館・ミキモト真珠島ー鳥羽バスセンターー池の浦ー民話の駅蘇民前ー夫婦岩東口・二見シーパラダイス前ー二見総合支所前ー二見浦表参道ー伊勢・安土桃山文化村ーサンアリーナー内宮前ー近鉄五十鈴川駅ー神宮徴古ー外宮前ー宇治山田駅ー河崎商人館駐車場ー宇治山田駅

※ノンステップバスの車いすスペースは1台分。そのため、運行している三重交通(株)は、「利用の際は事前に伊勢営業所まで連絡ください」とのこと。

問い合わせ： 三重交通伊勢営業所
TEL 0596-25-7131

<http://www.sanco.co.jp/travel/canbus/index.html>



食欲の秋！果物狩りへ行こう！

車いすトイレのある農園

～みかん狩り～



○伊豆長岡町小坂の小坂共同みかん農園

車いすが通れる園路を整備。ただ、みかん畑は山の斜面にあるため車いす利用者単独でのみかん狩りは難しい。

場 所：静岡県伊豆の国市小坂1336

TEL 055-948-4141 FAX 055-948-4180

料 金：900円

営 業：期間内無休（11月1日～1月5日）

開 園：9:00～17:00

駐車場：あり

○浜松市フルーツパーク

正門ゲートから「みかん園」までは距離がある上坂道もあるので、車で行くとよい。

場 所：静岡県浜松市都田町4263-1

TEL. 053-428-5211 FAX. 053-428-5200

料 金：パーク入場料700円（障害者手帳提示で半額）

時 期：10月下旬～1月下旬

開 園：10月～4月は9:00～16:30

駐車場 あり



○里の駅 ないぜ自然村

平地のみかん畑があり、車いすでみかんに手が届く。南伊勢町の特産物も販売している。畑までは、道沿いの駐車場から少しの地道と坂があるため、みかん畑のすぐ脇まで車を乗り入れることもできる。

場 所：三重県南勢町内瀬1537-8

TEL：0599-67-8100 FAX：0599-67-8101

料 金：みかん2キロのお土産付き

一般1500円 障害者1300円（介助者無料）

時 期：期間中は無休

開 園：10時～16時

駐車場 あり



～ぶどう狩り～



<愛知県岡崎市 駒立ぶどう狩り>

営 業：期間内無休（8月1日～10月上旬）

開 園：9:00～17:00

駐車場：あり

○遊覧農場ヤマナカ果園

場 所：愛知県 岡崎市駒立町ノボリ51

TEL 0564-45-6863 FAX 0564-45-6863

料 金：食べ放題おみやげ込み1,600。障害者割引1,200円

○マルタ園

料 金：食べ放題おみやげ込み1,500円

場 所：愛知県岡崎市駒立町石神18

TEL・FAX 0564-45-7515

○ヤマサ園

料 金：食べ放題おみやげ込み1,500円

場 所：岡崎市駒立町カワテ56・57

TEL 0564-45-5566 FAX 0564-45-5720

<長野県塩尻市 観光課に聞きました>

期 間：8月中旬～10月下旬

営 業：9:00～日没まで

駐車場：あり



○宮坂園 料 金：600円～

場 所：長野県塩尻市宗賀桔梗ヶ原1299

TEL 0263-52-0451 FAX 0263-53-0453

○フモンチ園 料 金：800円～

場 所：長野県塩尻市桔梗ヶ原7 3番地6 3

TEL 0263-52-0474 FAX 0263-52-0415

○土田園 料 金：700円～

場 所：長野県塩尻市宗賀1299-156

TEL 0263-52-1923 FAX 0263-53-4345

○原遊覧園 料 金：500円～

場 所：長野県塩尻市宗賀桔梗ヶ原71-52

TEL 0263-52-2958 FAX 0263-53-6841

長良川サービスセンターのイベント

○グラウンドゴルフふれあいマッチ

11月5日(日) 10:00~15:00

内容:木製スティックでボールを打ち、ホールまでの打数を競い合う競技。試合形式で体験していただく。

対象者:特になし

参加料:無料

定員:特になし

募集:当日受付



○太極拳教室

11月11日(土) 13:30~15:30

内容:太極拳の初歩的な基本動作を中心に高齢の人や障害のある人も気軽に体験できる初心者向けの太極拳教室を実施する。

対象者:特になし

参加料:無料

定員:20名

募集:電話FAX等で事前申込



○車いすダンス教室

11月12日(日) 13:30~15:30

内容:音楽やダンスが好きな初心者を対象に、車いすを使用したダンスを体験する教室を実施する。マンボ ブルース ワルツ ズルバなど初歩的なステップを中心に行う。

対象者:特に無し(中学生以下は保護者同伴)

参加料:無料

定員:20名

募集:電話FAX等で事前申込

申込先:長良川サービスセンター

岐阜県海津市海津町福江1202-2

TEL 0584-54-2075 FAX 0584-54-5275

名古屋方面から東名阪自動車道弥富ICより約20分、長島ICより約15分

AJU自立の家関連イベント情報

○ウェルフェアコンサート

「障害を持つ人も持たない人も、地域社会で心豊かな生活を送ることができる“素敵な時間”を共に過ごしましょうという呼びかけで行っています。今年は、「古楽器集団 六華仙」をお呼びして、日本の伝統楽器での音楽を皆様にお楽しみいただく内容です。また、構成・演出・司会は、神津善行さん、更にゲストには、菅原洋一さん、中村メイコさんを迎えます。楽しいおしゃべりと、古楽器を使つての六華仙のクラシック演奏でぜひ、よい音楽を聞いて一緒に楽しんでいただきたいと思います。

会場:愛知県芸術劇場 コンサートホール

日時:9月29日(金) 18:30開演

チケット A席・車いす席:完売

B席:4,000円、C席:3,000円

○名古屋シティハンディマラソン

重い障害をもつ人たちとボランティア、およそ1,000名の仲間たちが、マラソンを通して相互理解と友情を深めるとともに『完全参加と平等』の実現に向け市民の声援を受けながら栄の真ん中を思い切り走るものです。

日時:10月22日(日) 受付9:00~

場所:栄 テレビ塔周辺

問い合わせ:愛知県重度障害者の生活をよくする会 TEL 052-841-8841

○多治見ワインフェスタ2006

今年も俳優の天野鎮雄さん、女優の山田昌さん、ソムリエールの島幸子さんやバイオリニストの加藤菜津子さん、歌手の河原崎辰也さんをお招きして、多治見修道院にてワインの収穫を祝います。その他、イベントをたくさん計画中です。詳しくは次号でお知らせします。

日時:11月23日(祝)